

玉名市下水道事業経営戦略策定支援業務委託に係る公募型プロポーザル質問回答書

No	項目名	質問内容	回答
1	仕様書 1 2 (1) ア	仕様書の投資試算について、「施設及び設備の現状把握 保有施設及び設備の現状を、管渠（汚水・雨水）、処理場、ポンプ場等の資産区分に分けて把握する。」との記載がありますが、現地調査も必要なののでしょうか？	現地調査は不要です。
2	仕様書 1 2 (1) エ ① 及び②	仕様書の投資試算について、「①投資の優先順位や平準化等による合理的な投資の内容及び所要額等の見通しを複数 パターン行い、取りまとめる。②投資の合理化については、需要予測を踏まえた施設及び設備のスペックダウン、長寿 命化の検討など、多様な視点から検討すること。」との記載がありますが、当該内容を満たすのであれば、貴市と協議の上、①前年度以前に策定されたストックマネジメント計画等の投資計画があり、当該内容が必要十分なものであると認められる場合、当該計画を活用することや②国土交通省のアセットマネジメント「簡易支援ツール」を利用すること等による、簡易な投資試算を行う形でもよいのでしょうか？ それとも、積算要領等に基づく詳細な投資計画の積算が必要なのでしょうか？	公共下水道事業については、令和 6 年度策定のストックマネジメント、農業集落排水事業については令和 2 年度策定の農業集落排水施設最適整備構想の提供が可能です。